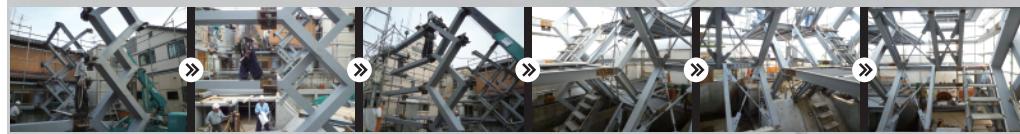


市松模様の床とヴォイド
が交互に連転しながら積
層していく。また構造体
のボックス梁も、交互に
庇と梁になりながら、編
み込まれている。

難しい形態、構造、設備
のため、施工も容易では
なかった。とくに特注し
たボックス梁を納める精
度が求められ、橋などの
建設にかかる工務店が
担うことになった。



ボックス梁、階段、デッキスラブの建て方

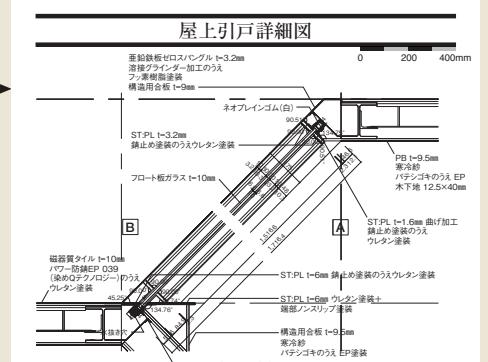
写真提供：柄沢祐輔建築設計事務所

Process 2 / Design

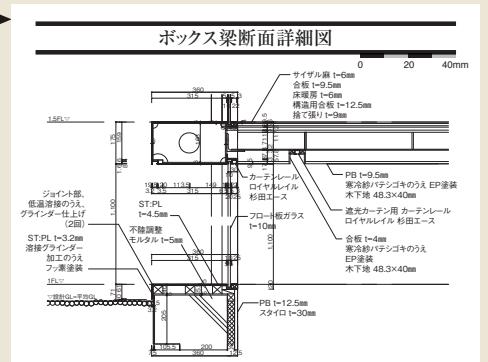
試論

ディテールや施工の
困難をいかに乗り越えるか

「概念」をわかりやすく具現化するた
めには、雨じまいや設備の納め方
などの課題が山積していた。



屋根も床スラブと同じ形
状で、開口部は斜めにな
っている。そこに引戸を
納めるディテール。



「概念」の形態をじやまし
ないように、鉄板のボッ
クス梁のなかで配管、配
線をしている。